

開講場所

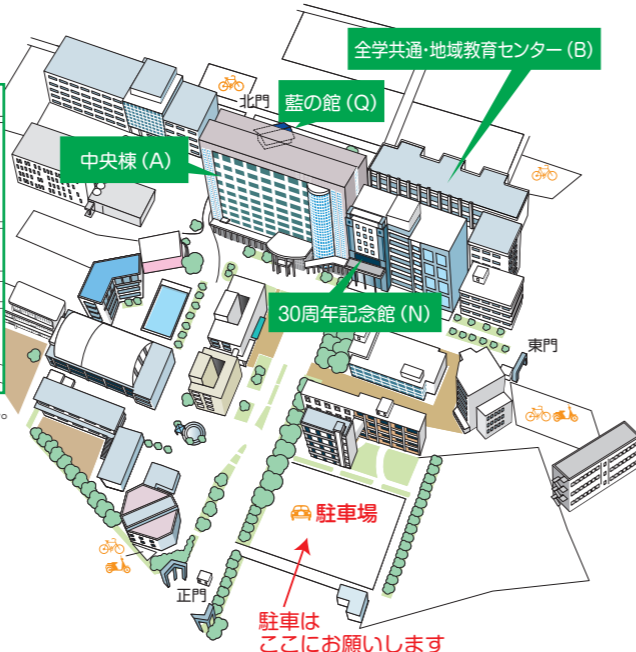
N209	四国大学30周年記念館209教室
B201	四国大学全学共通・地域教育センター201教室
A408	四国大学中央棟408教室
A1019 A1020	四国大学中央棟1019・1020室
A818	四国大学中央棟818実習室



交流プラザ



※交流プラザに駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



問い合わせ先  
**四国大学 SUDAchi推進室**  
**「新あわ学コース」事務局**  
 〒771-1192  
 徳島県徳島市応神町古川字戎子野 123-1  
 TEL 088-665-9953  
 E-mail sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp

平成30年度 7月▶12月

**受講料…無料**

(体験講座は実費負担です)

\*1回につき2単位修得できます  
 (体験講座1単位)



〒771-1192

62円切手  
をお貼り  
ください

郵便はがき  
771-1192

徳島市応神町古川字戎子野 123-1  
**四国大学 SUDAchi 推進室**  
**「新あわ学コース」事務局 行**

講座申込書

「新あわ学コース」受講を申し込みます。

ふりがな 氏名	
住所	〒
電話番号	
申込み講座	

**あわ**  
 第2回  
**検定**

平成31年  
**2月24日(日)**  
 13:00~14:00(受付12:00~)

- 会場 / 四国大学 共通講義棟 (徳島市応神町古川字戎子野123-1)
- 参加費 / 無料 ■ 申込み / 事前申込制
- 定員 / 400名(先着順)

※受検申込書は9月頃から配布いたします。多数のご参加をお待ちしております。

主催 / 四国大学 SUDAchi推進室「あわ検定」実行委員会

**まなびーあ徳島**

**新あわ学コース**

徳島県立総合大学校 / SHIKOKU UNIVERSITY 四国大学





# まなびーあ徳島

## 新あわ学コース

徳島のことについて歴史や文化などを体系的に学び、地域に愛着と誇りを持ち、徳島の魅力を再発見していただくことを目指します。

**講座一覧**

※講座開講場所の詳細は裏面に記載しています。  
※体験講座に関しては、申込後詳細をご案内いたします。

### 文化

**吉野川の阿波藍** **体験** 徳島大学総合科学部 平井 松午  
7/10 **火** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
7/17 **火** 9:30-16:00 現地(出発・帰着:四国大学) 両日各18名  
吉野川流域では、水害防備のための竹林・掻寄堤を活かして近世以降に藍作が盛んとなり、現在も高石垣家屋、藍屋敷、高地蔵などが残っています。本講座では、こうした洪水遺産を通して吉野川流域での藍づくりを振り返り学んでいきます。

**阿波藍で染める** **体験** 四国大学生生活科学部 有内 則子  
7/11 **水** 10:00-12:00 四国大学 藍の家 ■募集定員 20名  
徳島は、藍染めの元となる藍染料「**アオイ**」づくりの本場として、現在もその伝統が引き継がれています。伝統的技法をとおし、阿波藍について学んでいきます。実際に、ハンカチを使い藍染を体験していきます。

**みんなで楽しむ阿波踊り** **体験** 四国大学 藤本 賢一 石川 翔子 井内香奈江  
7/30 **日** 13:00-14:00 四国大学 B201 ■募集定員 30名  
阿波踊りは、400年の歴史を持ち世界にもその名を知られ、日本を代表する伝統芸能の一つと言われております。その、阿波踊りの歴史を学び、実際に体験として「男踊り・女踊り」を踊り、阿波の魅力や身体で体感していきます。

**徳島ゆかりの書家**—松翁・梧竹・奇石— 徳島県立文学書道館 大林 佳代  
8/1 **水** 14:00-15:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
徳島とゆかりのある書家、とりわけ全国にその名を知られる「賞名松翁、中林梧竹、小坂奇石」の3名を取り上げます。作品や書論のほかエピソードを交え、わかりやすく紹介します。

**阿波人形浄瑠璃の魅力**—地域の風土や歴史とともに— 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 佐藤 憲治  
8/30 **木** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
吉野川～阿波藍～阿波人形浄瑠璃とつながる徳島県の近世以降の文化史。なぜ徳島で400年以上も人形浄瑠璃という文化が受け継がれてきたのか、その背景と阿波人形浄瑠璃の魅力についてお話しします。

**徳島生まれの女性文学者**—生田花世と今井邦子— 徳島県立文学書道館 亀本 美砂  
9/14 **金** 14:00-15:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
文芸雑誌「青鞥」や女性雑誌「明日香」などで活躍した生田花世と今井邦子。妻や母として苦悩しつつも、生涯文学への情熱を燃やし続けたひたむきな生き方を紹介します。

**徳島の伝統工芸** AWA-RE 井上 琢斗 徳島大学地域創生センター 笹尾 知世  
10/2 **火** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
徳島の伝統工芸品のこれからについて学びます。祖谷のかずら橋の歴史を紹介するとともに、そのかずら橋の架け替え時に出るシラクチカスラの廃材を使って新しいお土産のデザインを考えます。

### 文化

**四国遍路の文化** 徳島県教育文化課 早淵 隆人  
—世界遺産登録への取り組みから見てきたもの—  
10/3 **水** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
世界遺産の現状と、「四国遍路」の世界文化遺産登録に向けた10年の取り組みから見てきた四国遍路文化の魅力や、登録への課題などについてお話しします。

**徳島における新しいモラエス像** 放送大学 石川 榮作  
10/4 **木** 14:40-16:10 四国大学 交流プラザ2F会議室 ■募集定員 30名  
大阪神戸ポルトガル領事を務めていたモラエスは、1913年7月に突然その職を投げ捨て、徳島に移住してきました。それはなぜなのか。その理由を探りながら、モラエスが徳島で新しい文学の道を切り開いていったことをお話ししていきます。

### 歴史

**元ドイツ俘虜たちの「板東」への熱い思い** 放送大学 石川 榮作  
7/19 **木** 13:00-14:30 四国大学交流プラザ4F第2セミナー室 ■募集定員 30名  
松江豊寿所長の人道的な計らいにより比較的自由的な俘虜生活を送ったドイツ俘虜たちにとって、「板東」は解放後も忘れられないものとなりました。その彼らの「板東」への熱い思いが、現在の日独交流の根底にあることをお話ししていきます。

**徳島の歴史** 徳島県立文書館 金原 祐樹  
8/9 **木** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
徳島の歴史には、徳島という地域なりの特徴があります。古代、阿波の国が置かれてから、現代に至る徳島の歴史を地図や古文書で確認し概観しながら、徳島の歴史の特徴を探っていきます。

**四国遍路の歴史**—その成立を探る— 徳島県立博物館 長谷川 賢二  
10/16 **火** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
四国遍路が現在のような八十八か所巡拝の形態となるのは江戸時代のことで、この講座では、四国遍路成立への胎動が続いた古代・中世の様子を探っていきます。

**阿波の青石と庭園文化** **体験** 四国大学文学部 須藤 茂樹  
11/8 **木** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
11/22 **木** 10:00-16:00 現地(出発・帰着:四国大学) 両日各25名  
徳島市国府町の巨石が立派な「国分寺庭園(国指定名勝)」、石井町「童学寺庭園(町指定名勝)」、美馬市美馬町の県下最古の庭園とされる「願勝寺庭園(県指定名勝)」を巡り阿波の庭園文化の特質を学んでいきます。

**源義経の上陸ルートを歩く** **体験** 四国大学文学部 會田 実  
11/9 **金** 13:00-14:00 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
11/16 **金** 9:30-17:00 現地(出発・帰着:四国大学) 両日各25名  
『平家物語』に登場する「源義経の上陸ルートを歩く」をテーマに、歴史講座と現地ウォークを組み合わせて学んでいきます。(現地ウォークは、旗山、勝占神社、勢合、名田橋、金泉寺、屋島を巡ります。)

**発掘からみえる徳島の歴史** (公財)徳島県埋蔵文化財センター 湯浅 利彦  
12/4 **火** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
徳島県では、平成時代になって発掘調査による出土資料が爆発的に増えました。文字のない時代はもちろん、古文書などが残る時代でも出土資料から見える徳島の歴史像はすいぶん豊かになりました。30年間の主な発掘成果を紹介しながら、徳島の歴史とくらしに迫ります。

### 自然・地理

**植生からみる徳島の自然** 四国大学教育支援課 西浦 宏明  
8/28 **火** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
海岸から剣山までの樹木や森林の分布をもとに徳島の植生を概観するとともに、社寺林や巨樹などを紹介して、徳島の自然景観についての理解を深めます。

**地震と地形との関係** 徳島県立博物館 中尾 賢一  
10/10 **水** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
ふだん地形を気にすることはあまりないと思いますが、山があるのにも理由があります。山を作る主な要因のひとつは、様々なタイプの地震です。この講座では、徳島及び周辺各地の例をもとに、地震と地形の関係についてお話しします。

### 地域

**「東祖谷」案山子と祭りと世界農業遺産を歩く** **体験** 四国大学生生活科学部 上野 昇  
9/24 **月・振休** 8:30-19:00 現地(出発・帰着:四国大学) ■募集定員 20名  
中秋の名月の頃、ソバの花が咲き誇る東祖谷の栗枝渡集落では、平家落人伝説が色濃く残る神社で例大祭が行われます。この集落を含む「にし阿波地域」は世界農業遺産に認定され、今も急傾斜地農法など独特な農業が営まれています。剣山、かかしの里、奥祖谷二重かずら橋など観光だけでなく、住民との交流、農業や祭りの現状を身近に感じられるフィールドワークを実施します。

**郷土の魅力再発見講座(西部)** **体験**  
詳細はHP ([http://syougai.tokushima-ec.ed.jp/srch\\_event\\_manabia](http://syougai.tokushima-ec.ed.jp/srch_event_manabia))に記載  
地域の良さやその価値を再発見するため、西部圏域ならではの地域資源をテーマとしたフィールドワークや座学を実施します。  
問合せ先：徳島県西部総合県民局 (TEL:0883-53-2010)

**郷土の魅力再発見講座(南部)** **体験**  
詳細はHP ([http://syougai.tokushima-ec.ed.jp/srch\\_event\\_manabia](http://syougai.tokushima-ec.ed.jp/srch_event_manabia))に記載  
地域の良さやその価値を再発見するため、南部圏域ならではの地域資源をテーマとしたフィールドワークや座学を実施します。  
問合せ先：徳島県南部総合県民局 (TEL:0884-74-7330)

### 産業・経済

**徳島県の経済と産業** (公財)徳島経済研究所 竹中 淳二 徳島県農林水産総合技術支援センター 鎌倉 満行  
9/3 **日** 14:00-15:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
徳島県の経済と産業について学びます。まず前半では、県人口の推移や徳島の抱える構造的課題、今後の成長期待分野などについてお話しします。後半では、特に徳島が全国に誇る農林水産業を取り上げてお話しします。

**徳島の科学技術・情報工学の最先端** 徳島大学理工学部 西出 俊  
9/13 **木** 14:00-15:30 四国大学交流プラザ 4F第2セミナー室 ■募集定員 20名  
徳島では阿波おどりを踊れる二足歩行型のロボット開発や、ドローンを活用したまちづくりに全国に先駆けて取り組むなど、科学技術を活用した観光振興や地方創生に取り組まれております。これからの人口減少対策に期待が寄せられている「人工知能」など徳島の情報工学の最先端について紹介します。

**徳島農産物の流通と卸売市場** **体験** 四国大学地域教育・連携センター 宮井 浩志  
11/21 **水** 13:00-14:30 四国大学 A408 ■募集定員 30名  
11/24 **土** 5:30- 7:00 現地(出発・帰着:四国大学) 両日各20名  
日々の食卓を支えてくれている卸売市場。私たちに近いようで遠い卸売市場について、その役割やセリなど取引の仕組みについて学びます。(本講座は座学に加え、徳島市中央卸売市場の現地見学を行います。)

### くらし

**東海道中膝栗毛と阿波弁** 徳島大学総合科学部 仙波 光明  
7/31 **火** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
今からほぼ200年前のベストセラー『東海道中膝栗毛』の中には、阿波弁につながる言葉が10余り見つかりました。「こける、そら、がい、つるくる、ふすくる、えっと」などについて歴史をさかのぼり解説していきます。

**糖尿病対策!徳島新しい健康法** **体験** 四国大学生生活科学部 范 永輝  
8/8 **水** 13:00-14:00 四国大学 体育館 ■募集定員 25名  
徳島県では、平成5年から18年にかけて、14年連続して「糖尿病死亡率全国ワースト1位」が続いていました。そこで、皆様と一緒に、新しい健康法について、ストレッチや阿波踊り体操、太極拳など様々な健康法を探っていきます。

**ふるさとの味を楽しもう!** **体験** 四国大学生生活科学部 高橋 啓子  
9/4 **火** 10:00-13:00 四国大学 A1019,A1020 ■募集定員 30名  
徳島は南部の沿岸地域から西部の山間地域と気候風土が大きく異なります。そのため、沿岸地域では海のもの、山間部では山のものなどそれぞれの土地の産物をつかった郷土の料理が誕生しました。懐かしいふるさとの味を再現し、味わってみましょう。

**阿波の民間信仰** 徳島大学総合科学部 高橋 晋一  
—「地神さん」を中心に—  
9/4 **火** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
徳島県内のどこに行っても目にする、五角柱の石塔「地神さん」。実は、数少ない阿波の「共通文化」なのです。講座では、地神さんの歴史、信仰、祭りの実態について、映像を交え紹介します。

### くらし

**阿波のそば文化～そば米～** **体験** 四国大学短期大学部 植田 和美  
10/20 **土** 10:00-12:00 四国大学 A818実習室 ■募集定員 24名  
ソバを粉にしなくて実のまま食べる食文化は全国でも珍しく、徳島県には祖谷地方の郷土料理として「そば米雑炊」があります。本講座では、そば米をテーマとした講義と実習(そば米雑炊、そば米を使ったスイーツなど)を行います。

**徳島方言番付からみる地域とことば** 徳島大学総合科学部 岸江 信介  
12/3 **日** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
方言消滅が叫ばれつつありますが、阿波弁もまた伝統的な方言が徐々に消えつつあるのが現状です。徳島県での全域調査を通して作成した「徳島県方言番付」をもとに阿波弁の特徴について取り上げ、その魅力に迫り解説していきます。

### その他

**とくしまサテライトオフィスプロジェクト** 徳島県地方創生推進課 原内 孝子 (株)ダンクソフト 本橋 大輔  
7/6 **金** 13:00-14:30 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
「最先端の仕事を地方で!」場所を選ばない新しい働き方を発信する「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」の取り組みと、サテライトオフィスでの働き方や地域との関わりなどをご紹介します。

**南海トラフ対策～津波避難を考える～** 徳島大学総合科学部 塚本 章宏  
7/12 **木** 10:00-12:00 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
事前に津波から避難するための経路を把握している人は意外と少ないのが現状です。本講座では、海陽町で実施されたGPSを用いた避難訓練を題材に取り上げながら、自分の避難経路や移動速度などを考えていきます。

**あわ検定対策講座** 四国大学地域教育・連携センター 峪口 有香子  
12/19 **水** 13:00-14:00 四国大学 N209 ■募集定員 30名  
「あわ検定」は、徳島の歴史・文化・自然・産業・くらしなどについて深く掘り下げるとともに、その魅力を再発見・再認識していただき、さらに観光振興にもつなげ、徳島の活性化を図ることを目的とした検定です。「第2回あわ検定」にむけて、学習していきます。

**新あわ学コースのお申し込みは…**

- 1 申込はがき
- 2 ファクシミリ: 088-665-9983
- 3 メール  
E-Mail: sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp
- 4 電子申請

右のQRコードを携帯電話で読み取り、必要事項を入力してください。

上記いずれかにより、「四国大学 SUDAchi推進室」まで、お申し込みください。

注)・申し込みは、なるべく講座7日前までをお願いします。  
・各講座とも定員になり次第、募集を終了させていただきます。

